

- 1 単元名 「2021年度 1.2年合同奈良めぐり Fコース ～大仏鉄道からみたこれからの交通～」
- 2 単元の目標
 - (1) 「地域」「地域で活動される人々の思い・声」に多様な視点から迫り、単に観光地をめぐる奈良めぐりではなく、「ESD・SDGsにつながる学び」にする。 (知識及び技能)
…将来の地域を担う主権者としての学び。人と人との出会い。こだわり。豊かな社会づくり。
 - (2) 協働的な学びをつくる。 (思考力・判断力・表現力等)
…主体的な学び。2学年合同の学び。生徒と先生が共に学ぶ。他者との意見交流。
「問い」を深め、これからの「答えの見えない世界」をたくましく生きる力を身につける。
 - (3) 奈良めぐりで得た知見を発表し、学習のまとめとする。 (主体的に学習に取り組む態度)
…各コースの取り組みを聞き、身近な社会問題に関心を持つ。

3. 単元について

(1) 教材観

大仏鉄道とは、現在の関西本線の前身で明治の5大私鉄の一つとうたわれた「関西鉄道(かんせいてつどう)(株)」が名古屋方面から大阪への進出を目指し、「加茂駅」から現在の奈良駅北1.1kmの所に仮設的に作った「大仏駅」間を結ぶ8.8kmと、翌年に開通した奈良駅までの通称である。

新たに木津駅経由の平坦路線が開通したため徐々に乗客が減少、1907年鉄道の国有化法により僅か9年間で廃止となった。

附属中学校の通学路の船橋通りには大仏駅の跡地に「大仏鉄道記念公園」がある。現在、線路跡は残っていないが、橋脚や隧道などが元の路線沿いに100年前そのままの姿で残っており、遺構をめぐりながらこれからの社会にふさわしい持続可能な交通について考えていく

JR加茂駅から大仏鉄道記念公園までの行程約13kmを3時間から4時間かけて遺構を巡る途中には、SDGsの視点に立って活動しているお店や牧場がある。そこで働いている人のお話を聞いて、自分ごとの学びとしたい。

(2) 生徒観

Fグループの生徒は、鉄道関係の事象に関心意欲が高く、毎時間の学習について感じた自分自身の「問い」をまず自分なりの考えで解決しようとする生徒が多い。また課題提示された際に、時間をかけて丁寧に考える生徒が多いので、考える時間を十分に設けると、課題の本質にたどりつくことができる。

お互いの考えを共有するために、発言が行いやすいグループの雰囲気づくりを心掛けている。生徒間のコミュニケーション能力は高く、Chromebookを活用しながら、生徒同士で考えを深めあうことができるグループである。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、「みつめる」の取り組みとして、これまでの自分自身の生活から、大仏鉄道について調べながらマインドマップで、大仏鉄道を通して「これからの交通」を考えるのに必要な視点について考えた。マインドマップをお互いに共有しながら、「歴史」「景観」「秘密」「クローバー牧場」というテーマを考え、4つの班に分かれて取り組むこととした。

次に、「しらべる①」の取り組みとして4つの班で、chromebookを使いながら、4つのテーマについてスライドを作成し、Fグループ内での発表会を行う。他の班の発表を聞くことにより、多種多様な視点で、「大仏鉄道」についての知見を深める。また1.2年合同の事前学習に向けて、1年にわたりやすく、楽しく学ぶことを目標として、作成したスライドの加筆修正を行う。

さらに、「しらべる②」の取り組みとして、1年.2年合同の事前学習では、大仏鉄道研究会の会長さんをゲストティーチャーとして招き、大仏鉄道が走っていた当時の時代背景についての説明や、大仏鉄道の鉄道施設で取り壊されたりして、現在では見られないものについての説明を聞く時間を設ける。その上で2年生が作成したスライドやクイズを使って1年生に、プレゼンテーションを行う時間を設ける。

その後、1年生が興味をもったテーマをもとに、班分けを行う。

そして、「ふかめる」の取り組みとして、本年11月10日に1.2年合同奈良めぐりを実施し、大仏鉄道研究会の会員4人にガイドをお願いして、大仏鉄道の遺構を歩きながら、学びをふかめる取り組みをおこなう。

さらに、「ひろげる」のとりくみとして、事後学習では、4つの班で、テーマごとにルートマップを作成したり、学年発表会に向けてスライドを作成したり、お世話になった方々にお礼状を書いたりしながら学びを振り返る。そして、11月10日の取り組みで作成した1.2年のワークシートをもとに「これからの大仏鉄道について」グーグルドキュメントを使って、意見を共有しながらまとめ、これからの生活についてESDやSDGsの観点から考え行動できるようにする。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

相互性：つながり 自分の行動が地球全体、世界全体につながっている

有限性：もったいない 使い捨てが当たり前か

公平性：世代間・世代内での不公平性 今さえ、自分さえよければいいのか

責任性：自分で考えて行動する

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

批判的に考える力：今の便利さが本当に必要なのか

未来を予想して計画を立てる力：未来の交通について考える

多面的・総合的に考える力：社会全体、経済の観点から考える

つながりを尊重する態度：経済関係が循環しているか

未来像を予測して計画を立てる力：継続性のある事業であるのか

-本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正：自分たちの世代だけが幸せであることが、将来的にも幸せであるとは限らない。

世代内の公正：鉄道会社と乗客の考え方の相違

幸福感に敏感になる 幸福感を重視する：売り手よし、買い手よし、世間よし、

みんなが幸せになるために何が必要か

・達成が期待される SDGs

目標 7 エネルギー：持続可能な交通手段にはどんなエネルギーが最適か

目標 8 経済成長と雇用：地球全体の、世界全体の繁栄には何が大切か

目標 12 生産と消費：作る責任と使う責任について考える力

4. 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
①鉄道の企画・運営についての知識について理解している。 ②学んだり,調べたりして獲得した知識を、言葉や写真、図、絵などを用いてそれらと関係づけながらまとめる技能を身に付けている。	①資料をもとに課題を見だし,これからの鉄道についての方策を考えることができる。 ②実際に見学したことや事前学習での学びや考えたことを事後学習の取り組みで表現したりしている	①大仏鉄道の学習を通して,これからの鉄道を考えながら,これからの自分自身の生活について考え,行動しようとしている。

5 単元の指導計画(全 16 時間)

5 単元の指導計画(全時間16時間)

■ 学習活動	○学習への支援	○評価・備考
1 みつめる(2時間) ○大仏鉄道を通して「これからの交通」を考えるために必要な視点について考えよう ○マインドマップをもとに4つのテーマを考えよう	○chromebook で調べながら,自分なりのキーワードを考え,マインドマップを作成しながら,キーワードのつながりを改めて考えさせるようにする。 ○4つのテーマの班に分かれて学びを深める	ア① (知技)

<p>2 調べる①(2時間)</p> <p>○4つのテーマでスライドをつくろう</p> <p>○スライド発表会</p> <p>3 調べる②(2時間)</p> <p>○1.2年の合同事前学習に向けて、プレゼンテーションの準備をしよう</p> <p>○ゲストティチャーのお話から学ぼう</p> <p>○1.2年の合同事前学習スライド発表会</p>	<p>○学んだり,調べたりして獲得した知識を、言葉や写真、図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けさせる</p> <p>○1年生にわかりやすく楽しく学んでもらうためにはどのようなプレゼンテーションがふさわしいかを考えさせる。</p> <p>○大仏鉄道研究会のかたのお話から、大仏鉄道とESDやSDGsとの関連を考えさせる。</p> <p>○1年生に自分なりに考えたことを伝えることを意識させる。</p>	<p>ア②</p> <p>(知技)</p> <p>イ①</p> <p>(思考判)</p>
<p>4 ふかめる(6時間)</p> <p>○大仏鉄道の遺構を歩いて、ガイドのかたのお話を聞いて、自分の目で見て考えよう</p>		<p>イ②</p> <p>(思判表)</p>
<p>5 ひろげる(4時間)</p> <p>○事前学習・当日学習で学んだことを、自分なりの表現方法でまとめて、「大仏鉄道からこれからの交通についてまとめよう</p>	<p>○実際に見学したことや事前学習での学びや考えたことをワークシートにまとめさせる</p> <p>○大仏鉄道の学習を通して、これからの鉄道を考えながら、これからの自分自身自身の生活について考え、これからどのように行動すべきかについて考えさせる。</p>	<p>ウ①</p> <p>(主体的)</p>

